

観光施設・サービス等の料金設定等に関する調査・研究会

東京国立博物館 令和2年度の入館料改定について

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

令和8年6月8日(月)13:00~



いにしへの
創造力が
あなたを
刺激する

Inspiring you
with
the creative energy
of the past

TOKYO NATIONAL MUSEUM
2038
VISION

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

有形文化財（絵画、彫刻、工芸、書跡、歴史資料、考古等）の収集、保管、観覧、調査研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図る。

○組織の変遷

国の機関 ➡ 2001年独立行政法人国立博物館 ➡ 2007年独立行政法人国立文化財機構

※独立行政法人

国民生活及び社会経済の安定等の公共上の見地から確実に実施されることが必要な事務及び事業であって、国が自ら主体となって直接に実施する必要のないもののうち、民間の主体に委ねた場合には必ずしも実施されないおそれがあるもの又は一の主体に独占して行わせることが必要であるものを効果的かつ効率的に行わせるため設立される法人。

○文科大臣が中期目標（5年間）を作成 ➡ 法人が中期計画を作成し業務を実行 ➡ 文科大臣が評価

○収支について（寄附金等は除く）

国の時代 収入：国へ。費用：国が負担。

独法化後 収入：事業費として使用。

費用：収入を引いた額が運営費交付金として措置。また、一般管理費と事業経費については中期目標期間で5%以上の業務の効率化を図ることとされている。施設費は施設整備費補助金で措置。

○改定の概要

総合文化展（現東博コレクション展）料金を以下のように改定

一般	620円	→	1,000円
大学生	410円	→	500円
団体料金の廃止			

○料金改定後の動向

同時期にコロナ禍が起きたため、来館者数との関係性は分析困難

○料金改定の検討経緯

- ・平成31年2月に「[トーハク新時代プラン](#)」を公表し、[東京国立博物館の機能強化](#)を宣言
- ・同プランにおいて、[プラン実現のための基盤の確保の一環](#)として入館料の見直しを盛り込む
- ・[外部有識者からの意見も受けながら見直しを実施](#)

○料金設定の考え方

- ・[急激な来館者の増加](#)（H23・H29比較で3倍以上）等により、[博物館のランニングコスト](#)（光熱水・館内案内・環境整備・設備維持など）も増加
- ・このコストの増加が「[保存](#)」等の重要業務を圧迫
- ・[来館者一人当たりの直接的なランニングコスト](#)を踏まえた料金設定
- ・東京国立博物館のHPへの掲載をもって周知